

南部町

議会だより

No. **35**
平成23年
10月24日発行

<http://www.town.nanbu.yamanashi.jp/>



南部中学校第1回「輝城祭」



新羅神社(南部区)

9月定例会

- ◆ 平成23年度一般会計・特別会計補正予算 (P2～P6)
(放射能測定器購入)
- ◆ 台風15号災害視察・臨時議会 (P7)
- ◆ 総括質疑 (P8)
- ◆ 委員会レポート (P9～P11)
- ◆ 3議員が町政を問う (P12～P14)

7,339万9千円を追加

- 町道改良工事及び町道維持費 3,600万円
- 消防費(非常備消防、消防施設費) 1,400万円
- 障害者医療給付費 444万円
- 教育費(小・中学校費、社会教育費、保健体育費) 504万円
- 災害復旧費 200万円
- 財産管理費(会議室、事務室エアコン改修工事) 413万円
- 商工費(商工振興費、観光費) 233万円
- アルファセンター費 126万円

補正額は、7,339万9千円を追加し、予算の総額は、57億2,286万2千円です。
主な使いみちは、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費です。

(賛成・全員)

一 般 会 計

平成23年9月定例会は、8日に開会し、報告1件、一般会計補正予算、特別会計補正予算6件、一般会計決算認定、特別会計決算認定10件、合計19件のすべてを可決し、21日閉会した。



町道西行横沢線



改築予定の防災倉庫(本郷区)

6会計総額 6,514万2千円を追加

- 本管及び各水道施設修繕料 700万円
- 国民健康保険国庫負担金返還金 1,484万円
- 介護保険国庫返還金及び一般会計繰出金 3,254万円
- 後期高齢者医療費一般会計繰出金 372万円
- 富沢財産区間伐事業委託料及び重機借上料 87万円

簡易水道

補正額は、855万8千円を追加し、予算の総額は、3億2,439万1千円です。
主な使いみちは、営繕費等です。

(賛成・全員)



西部簡易水道施設(成島)

指定居宅サービス

補正額は、270万6千円を追加し、予算の総額は、5,997万5千円です。

主な使いみちは、一般会計繰出金です。

(賛成・全員)

国民健康保険

事業勘定

補正額は、1,568万円を追加し、予算の総額は、9億7,774万1千円です。

主な使いみちは、国庫負担金等返還金、一般会計繰出金等です。

直営南部診療施設勘定

補正額は、83万3千円を追加し、予算の総額は、1億5,820万2千円です。

主な使いみちは、備品購入費、修繕費等です。

(賛成・全員)

介護保険

補正額は、3,276万7千円を追加し、予算の総額は、10億74万3千円です。

主な使いみちは、一般会計繰出金、国庫支出金等過年度分返還金等です。

(賛成・全員)



福祉健康まつり

後期高齢者医療

補正額は、372万8千円を追加し、予算の総額は、2億3,982万3千円です。

主な使いみちは、一般会計繰出金です。

(賛成・全員)

富沢財産区

補正額は、87万円を追加し、予算の総額は、364万8千円です。

主な使いみちは、間伐事業委託料、重機借上料等です。

(賛成・全員)

黒字決算で健全財政を堅持

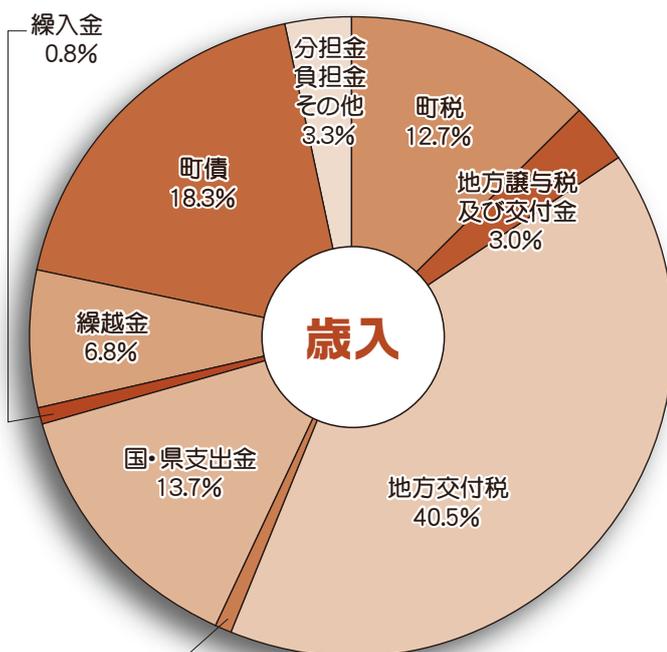
決算額は、歳入総額78億583万円、歳出総額71億8,008万円、歳入歳出差引額は、6億2,575万円で、黒字決算となりました。

＝この決算は平成22年4月から平成23年3月までの状況です。＝

歳入

78億583万円

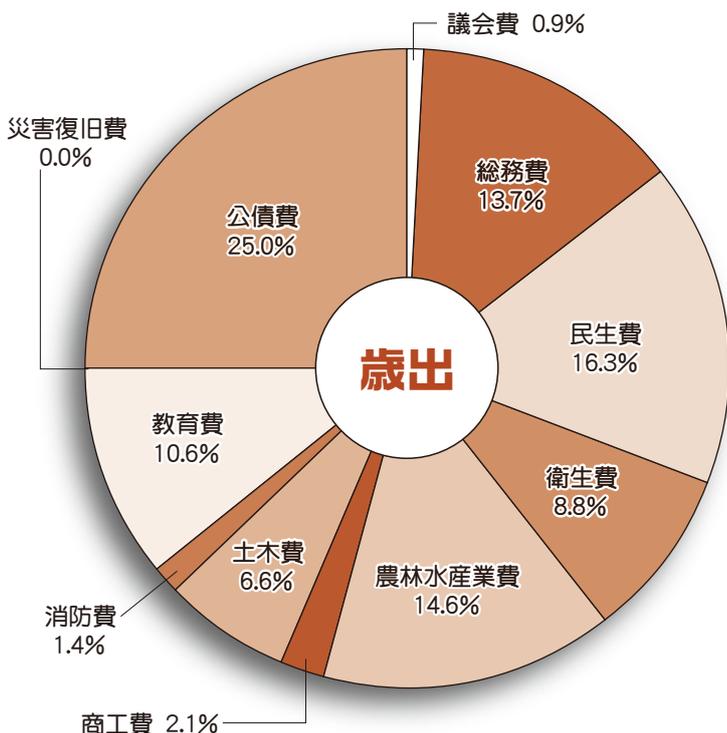
科目名	歳入
町税	9億9,418万円
地方譲与税及び交付金	2億3,479万円
地方交付税	31億6,262万円
使用料及び手数料	6,722万円
国・県支出金	10億7,190万円
繰入金	5,718万円
繰越金	5億3,173万円
町債	14億3,010万円
分担金・負担金・その他	2億5,611万円



一般会計

歳出

71億8,008万円



科目名	歳出
議会費	6,365万円
総務費	9億8,382万円
民生費	11億7,333万円
衛生費	6億3,086万円
農林水産業費	10億4,778万円
商工費	1億4,859万円
土木費	4億7,245万円
消防費	9,939万円
教育費	7億6,453万円
災害復旧費	6万円
公債費	17億9,562万円

10会計の歳出総額は27億347万円

- 水道施設整備費 5,909万円
- 国民健康保険給付費 7億3,175万円
- 介護保険給付費 8億3,406万円
- 後期高齢者医療費 1億1,323万円

会計名		歳入	歳出	差引額
簡易水道事業特別会計		3億3,714万円	3億2,409万円	1,305万円
指定居宅サービス特別会計		6,173万円	5,902万円	271万円
国民健康保険特別会計	事業勘定	9億7,684万円	9億0,616万円	7,068万円
	南部診療施設勘定	1億8,408万円	1億7,019万円	1,389万円
	万沢診療施設勘定	8,213万円	6,896万円	1,317万円
老人保健特別会計		137万円	137万円	0円
介護保険特別会計		9億6,474万円	9億3,529万円	2,945万円
後期高齢者医療特別会計		2億3,647万円	2億3,274万円	373万円
睦合財産区特別会計		128万円	87万円	41万円
富沢財産区特別会計		485万円	445万円	40万円
大城平外二山恩賜林 保護財産区特別会計		61万円	20万円	41万円
大日向外三山恩賜林 保護財産区特別会計		17万円	13万円	4万円
合計		28億5,141万円	27億0,347万円	1億4,794万円

特別会計

簡易水道

歳入の主なものは、使用料及び手数料、一般会計繰入金、借入金等です。

歳出の主な使いみちは、東部簡易水道改良費、1,052万円、西部簡易水道改良費502万円、中央簡易水道改良費、771万円、十島簡易水道改良費129万円、万沢簡易水道改良費302万円、償還金1億9,501万円等です。

(賛成・全員)

指定居宅サービス

歳入の主なものは、介護サービス費収入、一般会計繰入金です。

歳出の主な使いみちは、居宅サービス事業費、居宅介護支援事業費、一般会計繰出金等です。

(賛成・全員)

国民健康保険

事業勘定の歳入の主なものは、国民健康保険税、国庫支出金、療養給付費交付金等です。

歳出の主な使いみちは、保険給付費、5億9,595万7千円、共同事業拠出金、1億1,721万円、介護納付金、4,846万円、老人保健拠出金、118万円等です。

南部診療施設勘定の歳入の主なものは、診療収入、繰越金等です。

歳出の主な使いみちは、医薬品、医療用機械器具費、一般管理費等です。

万沢診療施設勘定の歳入の主なものは、診療収入、繰越金等です。

歳出の主な使いみちは、医薬品、医療用機械器具費、一般管理費等です。
(賛成・全員)

老人保健

歳入の主なものは、他会計繰入金、繰越金等です。
歳出の主な使いみちは、償還金、繰出金です。
(賛成・全員)

介護保険

歳入の主なものは、保険料支払い基金交付金、国、県、支出金等です。

歳出の主な使いみちは、保険給付費、地域支援事業費、諸支出金等です。
(賛成・全員)

後期高齢者医療

歳入の主なものは、保険料繰入金等です。

歳出の主な使いみちは、後期高齢者医療広域連合納付金1億638万円等です。
(賛成・全員)

睦合財産区

歳入は、他会計繰入金と繰越金です。
歳出は管理費です。
(賛成・全員)

富沢財産区

歳入は、財産収入、繰入金、繰越金、諸収入です。
歳出は、管理費、事業費です。
(賛成・全員)

大城平外二山 恩賜林保護財産区

歳入は、団体支出金、繰越金、諸収入です。
歳出は、管理費です。
(賛成・全員)

大日向外三山 恩賜林保護財産区

歳入は、団体支出金、繰入金、繰越金、諸収入です。
歳出は、管理費です。
(賛成・全員)

報告

○平成22年度決算に基づく南部町健全化判断比率及び、資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の、健全化に関する法律の規定により、平成22年度決算に基づく、南部町健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の審査意見書を付して報告されましたが、南部町の健全化比率、資金不足比率の数値は、問題のない正常数値でした。
(賛成・全員)

○南部町教育に関する事務の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成22年度に教育委員会が行った事業につき政策効果、必要性、効率性等の観点から自己評価を行い、公表することによって住民への説明責任を果たすと共に、今後の政策課題を明確にすることは重要なことである。

その点検評価結果は、次のとおりであった。

平成22年度の予算は、前年度より11.6%増であった。教育委員会の主な事業成果は、翌年度新中学校設置を控えて検討委員会を立ち上げ、新制服の決定や補助、スクールバスの運行路線等の決定、バスの購入、車庫整備、駐車場整備、図書室整備等を行った。各中学校の閉校記念式典も滞りなく挙行され、一連の統合事業によって生徒たちが安心して教育を受けられる良い環境が整った。

小学校については、栄小学校の屋上防水工事が行われた。山梨、青森両南部町児童交流会は、山梨で開催され、新しい時代の主役となる両県南部町児童が、互いの町の歴史、文化、環境などを紹介し、交流を深めた。

「南部学」等の各種講座を開催する生涯学習や、アルカディアスポーツセンター施設等を中心とした生涯スポーツ活動も、事業内容が充実し、明るく健康の町づくりをめざす、所期の目的を達成したといえる。

監査委員の意見書

審査に付された各会計の歳入・歳出決算書、同事項別明細書及び実質収入に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その係数関係帳簿、その他証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。内容的には、各科目ごとによく整理されており、

歳入・歳出ともに関係法令に基づき、計画的に執行され全体的には、正当なものと認められた。

一般会計の決算額の実質収支は、前年度に比べ1億1,115万7千円増加した。決算額の大幅な増額は、情報通信基盤施設整備工事が開始されたことと、南部中学校統合前の諸施策の実効、利率の見直しによる町債の借り替えが要因となった。

歳入については、40%を占める地方交付税が、合併10年が経過することにより段階的に減少する見込みである。

また、長引く景気低迷に加え人口減による、町民税の減

額は今後も続くものと予想される。

22年度に不納欠損処理がなされたが、税の公平及び歳入確保の観点から単なる消滅時効による不納欠損とならないように慎重かつ厳正な取扱いを願いたい。

歳出については、財政改革を念頭に置き、人件費扶助費及び公債費に係る義務的経費が高い水準で推移しないように、注視した歳出を図られよう努力してほしい。

実質収支額が6億円に近いものとなったが、これらの要因を分析し、基金積立金の増額等を考慮した、適切かつ計画的な予算編成を検討してほしい。

指定管理者制度を導入した4施設については、指定管理業務が適正に運営されているかどうか、評価・検証を怠らないよう努力し町民サービスの一層の向上を願いたい。

特別会計については、全体的には、良好であったが、国

保会計において、不納欠損処理が行われたが町税と同様に消滅債権が発生しないよう万全を期してほしい。

本会計の年度末財政調整基金残高が36万円となり、危機的な状況にある。健全な国民健康保険事業を図るため、計画的な対策を講じてほしい。

以上が、一般会計及び特別会計の決算状況であるが、我が国の経済は、東日本大震災、原発事故や欧米の経済不安等により景気は低迷し、雇用情勢の悪化が懸念されるなど、依然として厳しい状況にある。

このような中であって、町民は厳しい中でも基盤整備等のさらなるサービス向上を求めている。財政運営にあたっては、町税等の自主財源の確保を一層進め、行政内部の統制の強化を図り、社会経済情勢の変化に即応した、信頼性の高い効率的・効果的な事業を選択し行政運営に取り組んでほしい。

台風15号被害状況現地視察

台風15号は、21日の午後には、時間雨量80mmと近年では、未曾有の雨量となり、町内で多くの災害が発生しました。

各区長等からの報告も含めると、被害箇所は、9月29日現在で、224か所となりました。

議会としても、被害の大きさをからして、状況説明と現地調査実施の意向を町長に伝えたいところ、おおよその被害状況をまとめたので、議会でも現地調査等を実施してほしいとの依頼があり、10月3日、町長及び担当者と共に町内被害箇所を視察しました。

まず、孤立した町道佐野線

を視察した後、町内各地の被害状況を見たが、実際のところ、予想よりはるかに被害が大きなどころがあり、町に対して一日も早い復旧を要請した。

議会としては、執行部で被害状況をまとめ、予算が絡むものは、補正で対応するよう、早期の臨時議会開催の確認と、今後の対応を協議し、視察を終えた。



町道佐野線の被害



総括質疑

南部町の財政は健全

問 一般的には、健全であるが一部赤字事業の見直しをどう考えているか。

町長 福祉のための事業もあるので一概に、全てをというわけではなく、皆さんの意見を聞きながら、審議したいと思います。

23年度9月補正予算

問 障害者医療費の補正額の説明を。

福祉保健課長 対象者の増加ということですが、生活保護を受けている人が、更生医療を受けることとなったためです。

問 消防無線全般調査基本設計の説明を。

交通防災課長

山梨県消防広域化将来構想の中で、県一般消防本部を前提に、電波全般的の調査を行い、デジタル移行時期が、迫っているもので、追加負担をお願いするものです。

問 消防団員公務災害補償基金負担金の説明を。

交通防災課長 東日本大震災により、消防団員の死者、行方不明者が8月3日現在、251人おり、これが公務中の災害であり、遺族に支払われる費用基金で、南部町でも団員数に応じ、1、162万8千円の負担をするものです。

問 生活排水基本設計策定業務委託の説明を。

水道環境課長 南部町の生活排水処理基本計画は、平成24年度で10年計画が終了します。25年度から向こう10

年間の南部町では合併浄化槽の年度計画、規模、流量等を勘案した計画書を策定します。

問 各学校に備品購入費が盛られているが説明を。

学校教育課長 南部町独自で各小中学校に1台づつ放射能測定器（ガイガーカウンター）を購入し、児童・生徒たちの安心・安全を図ってまいります。

平成22年度決算の認定

問 昨年、税金の不納欠損処理をした該当者の理由は。

税務課長 昨年度の処分者は、出国、居所不明のケースをはじめ、換価すべき財産がなく、資力の回復が望めない者、あるいは資力に乏しく有効な徴収手段を取ることができなかったためです。

問 2年続けて、不納欠損処分をした人がいるか。

税務課長 守秘義務等の制約もありますが数人います。

問 滞納者の対応をどうしているのか。

税務課長 滞納者の生活状況、納税義務意欲の有無など個々の実情に即した整理をしているが、文書の催告で納付しない滞納者に対しては、職業、勤務先、収入状況、財産調査を行い結果をもとに、強制徴収を行っています。

問 平成20年度から22年度までの実質収支が増えているか。

るが。

財政課長 ここ数年、景気後退など地方の疲弊に対し、地域振興のために臨時交付金、特別交付税等の交付があり、実質収支が増額となりました。

問 耐震診断並びに耐震工事の状況は。

交通防災課長 平成16年から、118戸の耐震診断を行い、昨年は18戸の診断を実施した。その内耐震改修工事は、1件だけでした。設計込み工事費は、250万円で、町の補助金80万円、県の補助30万円があります。一軒に一部屋だけのシェルター工事もありますので検討していただきたいと思います。

問 環境センターRDF施設は、他町の焼却施設よりも一人当りに換算すると、高いと言われているが、町長の考えは。

町長 RDF施設は13年経過している。ゴミ処理問題は私に課せられた大きな問題として取り組んでいきます。



南部町消防団

委員会レポート

各常任委員会に付託された議案を、09月10日・13日に審査した。

総務建設常任委員会

問 消費者行政活性化交付金市町村事業の内容は。

答 消費者の安全で安心な消費生活の実現に向けて、市町村の取組みを支援する県からの補助金です。補助率は10分の10です。22年度の南部町の事業では、近年増加している詐欺などの被害防止のため、チラシを印刷し、全戸に配布しました。被害等の相談窓口は、総務課です。

問 広報の発行について、町長の広報に対する考え方の提示があったか。

答 広報は町長の機関紙としての機能がありません。年間12回発行し、内容については町長と協議し発行していきます。

問 団員公務災害補償基金負担金1,162万8千円について、説明を。

答 東日本大震災において、消防団員が殉職したことに伴い、遺族に対して公務災害補償をするためのものです。総額200億5千万円が不足するため、全国の消防団員88万1,700人が負担します。一人あたり2万2,800円が追加掛金になります。本町の団員数は510人です。1,162万8千円となります。

問 地域情報化の推進を踏まえ、現在の進捗状況は。

答 今後の耐震診断については、地域的に実施して行きます。22年度の耐震改修は1件でした。改修には、費用面についての問題があるので、国県に働きかけて補助金の上乗せがされるようにお願いし、事業についてのチラシ等は、分かりやすく改善していきます。

問 住宅用火災警報器が配布されたが、設置率は。また警報器の電池の寿命はどれくらいか。

答 全戸配布したので、設置率100%と考えています。今後消防団で各家庭の設置確認を行います。なお、電池の寿命は約10年です。

問 23年度は、南部地区の光幹線ケーブルの敷設工事とFM告知端末設置工事を2本立てで実施しています。

答 9月9日現在の進捗状況は、光伝送路敷設工事が42.2%でFM告知設置工事は66.8%です。工期は24年3月20日です。

問 22年度の当初予算額が58億7,340万円で、22年度の標準財政規模が43億9千万円であったが、今後の予算総額は。

答 標準財政規模については、町税、地方交付税、地方譲与税、臨時財政対策債等で一般財源となっています。また、事業の推進を考えると、有利な起債や国県の補助金を利用して、事業を計画的に実施する経費を加算すると、今後は50億円前後の当初予算総額を見通しています。

問 公債費比率は21年度が11.3%、22年度は11.0%、将来負担比率は21年度が31.5%、22年度は13.0%

答 22年度末に、基金の積み増し、公債費を率のよいものに借り換えたと繰上償還分です。

問 山水徳間の里管理組合について説明を。

答 徳間区を中心に設立された組合で、山水徳間の里の指定管理者です。22年度は、指定管理料570万円を含め7万7千円の利益がありました。



山水徳間の里(そば処 ひのき)

問 道路新設改良費の公有財産購入費、400万円の内容は。

答 内船地区の町道湯源線と福士の火内石坂本線の用地買収費です。

問 今後の地籍調査事業の予定はどうか。

答 10箇年計画では、平成29年度を調査の最終年度としていますが、その成果の閲覧及び県と国の認証を経て、平成31年度に法務局に最終成果を送付する予定です。



改良予定の町道湯源線

で1番の受診率で、22年度は1,186人です。

問 派遣医師の状況は。

答 両診療所合わせて6人で身延山病院から3人、山梨大学医学部から2人、東京から検査担当医1人です。

今後の予定として、内科医師の万沢診療所への派遣に向けて、各関係機関と協議しています。

問 アルファアーセンター費の委託料106万1千円の内容は。

答 敷地内にある赤道、青地を甲府財務事務所の指導により払い下げることになり、それに伴う申請に必要な求積図の作成や各種申請、調査を委託するものです。

問 配食サービス事業について説明を。

答 昨年は12,138食で、町の配食車を利用し、1日70〜80食を配っています。今後80食を越える場合は調



配食車「味彩号」

今後支給額の減額が予想されるが町民の反応はどうか。

問 介護保険料の収入未済額の内容は。

答 主に普通徴収の未納者です。中には生活困窮者もいますが、今後も通知や訪問、電話等により納入を促していきます。

問 子ども手当負担金8,195万7千円についてと、

答 主に普通徴収の未納者です。中には生活困窮者もいますが、今後も通知や訪問、電話等により納入を促していきます。

問 保育所総務費の委託料298万2千円について説明を。

答 児童手当から子ども手当に代わった時は、支給額が増えて大変喜ばれ、支給日の間合わせがよくありました。今後、減額があった場合は、間合わせが予想されますので、広報等により改正の周知を行います。

文教厚生常任委員会

問 保険基盤安定負担金236万7千円の説明を。

答 低所得者に対する保険税の軽減分を対象とした繰入金に対する負担金で、軽減は世帯の所得により区分があり、7割軽減が333世帯、5割軽減が82世帯、2割軽減が184世帯、全体

では昨年より105世帯増加しています。

問 特定検診の受診率は。

答 20年度は人間ドックを含めた受診者が984人で52.9%、県内で2番目の受診率でした。21年度は1,047人で55.1%、県内

答 主なものは、保育業務委託料293万7千円になります。広域保育で町外の保育所に預かってもらっている園児の委託料で、南部町から各私立保育園もしくは市町村に支払います。

問 母子保健費の扶助費1,993万5千円について説明を。

答 主なものは、子育て支援医療費助成金です。

問 中央簡易水道改良費15万8千円について説明を。

答 委託料は楮根地内の、県の砂防工事に伴う、水道管移設工事を行うための設計委託料と、森地内の福土川、廃河川敷の払い下げを受けるものです。現在水道施設で使用している箇所用地買収費です。

問 環境衛生費補助金911万2千円について説明を。

答 浄化槽設置整備事業費の国と県の補助金で、22年度

は67基設置しました。

問 簡易水道使用料の収入未済額の内容は。

答 現年度の収入未納額は287万7千円です。

過年度未納額は1,105万7千円です。未納額の増は、上半期の半年間水道料金の値上げが考えられます。

なお、未納額の徴収については、通知、電話連絡、戸別訪問等により滞納整理に努力しています。

問 学校管理費の備品購入費の内容は。

答 各学校へ設置する放射能測定器の購入費です。なお測定にあたっては、教育委員会において年間被曝量1.64ミリシーベルト以内と

するガイドラインを独自に定めました。

問 教育費負担金の収入未済額の対応は。

答 給食費未納者に通知、電話、訪問により納入を促しています。

10月からは子ども手当から、給食費を徴収することができるとの活用も考えています。



放射能測定器



旧万沢中学校

問 廃校になった中学校の管理状況は。

答 教育委員会で植木の手入れや草刈り等を実施、管理しているのが現状です。万沢中学校は地域住民が調理室を利用した料理研究、工作室で木工教室の開催などの申し出があったため、これらに開放できるように検討しています。

第4回臨時会

平成23年第4回臨時会は、10月11日に開会し、台風15号による災害復旧補正予算を全会一致で可決して、同日閉会した。

○一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出にそれぞれ、1億3,352万5千円を追加し予算総額を58億5,638万7千円とするものです。

補正の内容は、9月21日発生の台風15号に対する、緊急災害復旧対策費で、主なものは、町道、林道、水路等の復旧費用と、町の文化財等の対策費です。

台風被害全容の早急な集計と適確な対策を要望した。



被害を受けた文化財(ひのき)

こゝが聞きたい!!

3議員が7項目について問う

問 富士川水利権更新に 対する町の考え方は

萩原 敬 議員



答

水路トンネル90年経過 安全対策を要望

町長 平成20年8月の河川法の改正で、21年4月以降は、原則として20年、当初の許可から100年経過後は10年となります。来年は20年契約で、その後は10年毎の更新となります。

問 水量は、10月1日～3月15日迄は、毎秒3t、3月16日～9月30日迄は、5tとなっているが可能な限り水量を増やすことはできないか。

町長 富士川本流の水の大半を地中水路トンネルに流し、駿河湾に放流していますが、一部を富士川本流に流すように関係機関に要望していきます。

問 水利権発生時以降に、要望書や協定書を結んでいるが、新たな要望や以前提出してあるものの確認する窓口を明確化して欲しい。

町長 国交省では、県知事の意見を聞き、水利権の更新をすることになっており、県は関係市町村の意見を聞き回答することとしております。今回の更新でも関係機関や流域市町村との十分な意見を聞いて更新するよう要望して参ります。

問 身延町波木井より十島に水路隧道が引かれているが、東海沖地震等の災害が発生した場合の対応と強度について、一般住民に説明

する機会を持って欲しいがどうか。

町長 軽金属株式会社の資料によりますと、細かな維持管理は、検査・監視体制やコンクリート強度などは十分な対策がとられていることが伺えるが、水路トンネルも90年が経過し、老朽化も心配されます。

地震時の安全面や防災面など、安全対策を日本軽金属及び国・県の関係機関に要望して参ります。



十島発電所

問 更新の年限が30年となっているが、10年ないし20年更新にできないか。

富士川の水利権は幾多の変遷を経て、国土交通省と30年毎の更新で、日本軽金属株式会社と契約を交わしているが、来年6月に契約が迫っている。次の4点について町長の考え方を伺いたい。



鍋田幹雄 議員

問 バイオマス（杉・桧・竹） エネで町を興せ

答 バイオマスは広域的な規模が必要

問 福島原発の放射能漏れは、広域住民の生活手段を奪い、原発難民を作ってしまった。

原発の神話は崩れ、地球温暖化防止の意味から、石油、石炭燃料にも頼らない、新エネルギー開発の模索が続いている。

町長は、地球環境温暖化問題の深刻化に対応するため、町の清流を守り、森林整備や新たな産業の創出で、若者の雇用を確保したいと言っている。

過日、議員研修で山口県岩国市の山奥で間伐材を利用したペレット工場を視察した。森林の多面的な機能を発揮させ、森林バイオマスの低コスト供給システム、中国火力発電所での石炭との混燃システムなどを見聞した。

南部町でも、捨て伐になっ
ている間伐材も建築素材と
端材に分け、更に敷化して
いる竹材も一緒にペレット
やチップにする燃料や、二
酸化炭素対策でオフセット・
クレジット認証を受け、販
売するなど、無限ともいわ

れる循環型自然エネルギー源の創出で、南部町経済の活性化に資する仕組みづくりを町長はどう考えるか伺います。

町長 森林資源の利用は低調で、国産材価格も長期にわたり低迷し、林業の停滞や森林の有する多面機能の低下が懸念されている。町の面積の87%を森林が占めており、木質バイオマスの代替エネルギー活用や、それに伴う産業の創出・雇用を考えるのは当然だが、県全体を巻き込み、広域的な規模でなければ、バイオマスエネルギー事業として成り立たないのではと思われ
ます。

荒廃した森林整備は景観・防災の面からも重要だが、優れた特性を持つ木材竹から得られるバイオ燃料の利用



倒木をペレットやチップに



木質ペレット

は、県等を中心に、機能や効果、問題点を十分調査・研究を重ねていただき、わが町も再考しなければなら
ないと思いますが、現時点では、木質バイオマスによる新エネルギーの活用は、
憂慮せざるを得ないと考え
ます。



市川 強 議員

問 町民に愛される

祭りにするために

答 実行委員会での検討が必要

問 ここ数年、南部の火祭りの衰退が続いている。

原因は予算削減です。祭りといえば一番に喜ぶのは子どもです。

4年ほど前より魚の掴み取りの中止が大きいと思われます。かつて魚の掴み取りには二千匹の魚を目当てに、子ども達数百人が両親やおじいちゃん、おばあちゃんとお訪ずれ、川の両サイドには開始のゴングを待ち目をキラキラさせていた。

中止になった時には予算削減と言いつつ、昨年からお盆に殺生は如何なる物かとの返答です。

果たしてそうなのですか。単なる理由付けに殺生と言う言葉を引用したと思われる。

子ども達は、魚の掴み取

りがあるから、ふるさと南部町のお盆に帰ってきた、と言う親子がたくさんいた。少しでも町内の各家が賑やかになるよう、来年こそは復活を希望する。

町長 東日本大震災で、計画

停電や各種行事が自粛され、火祭りも開催が危ぶまれた。

伝統ある、南部の火祭り開催を望む声が寄せられ、実行委員会、役員とも話をし、開催が決定した。

四つの行事である百八松投げ松明、灯籠流し、大松明に加え、3・11の竹灯籠による東北の復旧・復興にエールを送るというテーマに沿った内容で、盛大に開催できた。

魚の掴み取りは、経費の見直しや、気象状況、関係

者の事情から中止したと聞いているが、火祭り実行委員会の反省会の中で、検討すべきではないかと考えている。

問 今年も火祭りに有

料席が設けられたが、場所は悪い、料金は高いでは、来年以降利用者はいなくなる。

見やすい土手の上に設けたり、賛助金をいただいた方々には有料席1枱分（4人）が付くとか、テーブル付きとかのアイデアが必要で

す。有料席を埋める対策、例えば、駐車場や会場入口での案内、有料席の呼び込みをしたのか。

来年度以降の南部の火祭りに対する総合的な考えを伺いたい。

町長 有料席のあり方は、検討が必要で、火祭りも新南部橋の完成で、会場やお祭りそのものにも影響がある。

総合的にも火祭り反省会で検討すべきと考えている。なお、出店方式は、町の活性化に寄与したと思っ



南部の火祭り

現地視察報告

調査日

9月9日(金)

調査箇所

本郷地区3箇所、岬原、楮根地区2箇所、文京地区、万沢地区2箇所

○本郷原間地内の100m耐震性貯水槽設置工事予定地の視察。

○本郷東地内の、22年度に完成した100m耐震性貯水槽の確認。

○農業生産法人(株)マルファームに対する、ルネサンス支援事業の太陽光モジュール設置事業の確認と、当農場で行われている、アイメックシステムという新しい栽培技術による、糖度の高いトマト栽培を視察した。

○岬原地内の、農道岬原線改良工事確認、延長は127m、幅員4.0mで既に供用さ

れています。

○楮根地内の、農道宮原線の開設予定地の視察。延長は100mで、幅員は3.0mです。

○楮根地内の、22年度完成の町道宮原線の改良舗装工事、延長115m、幅員5.0mの確認。

○文京地内の、中部横断自動車道建設受託事業の、町道中島平線第2工区の舗装工事完了の確認。

○万沢西行地区の、町道西行横沢線改良工事の、現地測量及び用地調査の視察。延長は150m、幅員4.0mです。

○平成22年度地籍調査事業実施箇所の現地視察と、進捗状況の確認。

今回対象の万沢第1地区は、大字万沢の、増野、増

野坂、森横、西行峠、沢口、西行山、上越渡、越渡山等の一部です。



原間地内100m耐震性貯水槽設置予定地



太陽光モジュール設置事業

議会の動き

7月

21日(水)・新々富士川橋建設促進期成同盟会要望活動

22日(木)・老人ゲートボール大会

・第28回国民文化祭山梨県実行委員会第1回総会

・市町村長・市町村議会議長会議

26日(火)・町村広報編集委員長会議

28日(木)・議会広報研修会

・富士川林業振興会定期総会・表彰式

29日(金)・南部中学校野球部県大会優勝報告会・関東大会壮行会

・福祉健康まつり実行委員会

8月

2日(火)・町村議会運営委員長会議

3日(水)・町村監査委員行政視察研修

4日(木)・新南部橋開通式

・広報編集委員会 (4日まで)

5日(金)・中部横断道(富沢・増穂)建設促進連絡協議会総会

8日(月)・平成22年度財政健全化審査・決算審査 (9日まで)

15日(月)・南部の火祭り

18日(木)・第22回東京・大阪間沿線経済団体リニア中央新幹線早期建設促進大会

19日(金)・例月出納検査

25日(木)・関東議長会長行政視察研修 (26日まで)

29日(月)・総務・文教正副委員長・議長会議

30日(火)・国道469号建設促進期成同盟会要望活動

1日(木)・議会運営委員会

2日(金)・国保運営協議会

8日(木)・第3回定例会開会(1日目)

9月

第1回広報編集委員会

9日(金)・議会全員協議会

12日(月)・本会議現地視察(2日目)

12日(月)・総務建設常任委員会審査

13日(火)・文教厚生常任委員会審査

18日(日)・富河小・万沢小運動会

20日(火)・例月出納検査

21日(水)・本会議(3日目)

24日(土)・いさぎ山梨ねりんピック

26日(月)・議員全員協議会

27日(火)・睦合・栄保育所合同運動会

27日(火)・関東議長会長会議(28日まで)

・火祭り反省会

10月

1日(土)・睦合小・栄小運動会

2日(日)・富河・万沢保育所合同運動会

2日(日)・市町村総合事務組合議事会

3日(月)・議会全員協議会・災害現場視察

4日(火)・第3回広報編集委員会

第28回国民文化祭・やまなし2013における実行委員会

委嘱並びに初会議

6日(木)・町村監査委員全国研修会 (7日まで)

9日(日)・町民体育祭

11日(火)・第4回臨時議会

11日(火)・第4回広報編集委員会

12日(水)・国道469号要望活動

13日(木)・議長秋の園遊会

・広報編集委員会研修 (14日まで)

17日(月)・議員全員協議会

18日(火)・山梨県町村議会議員研修会

・第5回広報編集委員会

18日(火)・全国議長会長会議(19日まで)

20日(木)・東日本議長会議

・例月出納検査

・老人運動会

地域とのふれあい



芦川 優子
(成島区釜の口)

私が富士市から南部町に嫁いで5年目になりました。

毎日2歳半の息子の育児や家事をしながら4世代7人家族で暮らしています。結婚当初は仕事をしていた為、普段は家にいないことが多かったので地元の友達などは全くできず近所の人と挨拶をする程度に関わりしか持てませんでした。子供ができた時に地域でどうして育児をしようかと不安になったものでした。

出産してからも検診で何度か会うママ達とは話をするようにはなりませんが、それでも4か月位までは、ほとんど家にいる日々でした。

自分から行動しないと子供が可哀そうだと思い、オフトークでよく聞いていて興味があつ

た図書館の「ノンタンの部屋」にまず行って見ようと思いい、最初は緊張していましたが私も息子も徐々に周囲の人と打ち解けることができてからは、図書館へ行くのが楽しくなりました。

いろいろなママ達と関わって行くうちに、ぴゅあ峡南でも子供とママ向けの講座があつたり、アルカディアでは体操教室などがあるのを知って積極的に参加するようになりました。

この施設の方も優しく親切で子供を大事にしてくださうととても有難いです。近所の方達も会えば声をかけてくれますので子供も自然と馴染んで、今では気軽に話ができるようになりとても喜んでいきます。

私が今秋第2子を出産の為、息子を来春から保育園に入園させるつもりでいます。自然豊かな静かな環境の中で落ち着いた生活が送れることは、息子にとっても良いことだと思います。

私自身保育園での行事等を通してより一層地域との関わりを強く持ち、南部町の良さを実感しながら生活していけたら幸いです。

今、思っていること



岩崎 訓久
(向田区市小路)

織物製作を職業にしている私達夫婦が、南部町に暮らすことになってから13年が経過しました。

この春からそれまで仕事場として使用してきた市小路の古い家に手を入れて一家4人で生活しております。

東日本大震災が発生した日は、それまで生活していた坂下の借家から荷物の移動をしていました。いつになく長い揺れに、家の裏山が崩れるのではないかと、はじめて不安になりました。

また、台風15号の時には、近所の土砂崩れを目のあたりにし、向田の公民館に一時避難という経験をしました。

山に囲まれた緑豊かなこの町で、築100年以上の古い家に縁あって住むことになり、感じたことは、一昔前の暮ら

しは少しだけ面倒ですが、少し手を入れると歴然と快適になりました。

春夏秋冬、違う落葉そうじに、草とり、仕事の合間には雨どいの落葉を払うなどしております。

大きな土砂災害は、個人では防ぎきれませんが、我家も、山林に詳しい地元の方に裏の土手が崩れにくくなるような基礎を作ってもらおうと思っております。

自然災害は日本国内に居住している限り起こりうる事だけに、生命の危険をできる限り防ぐ努力は、各家庭で強く認識をしていかなければと思います。

山村の暮らし方も含めて、子ども達とも一緒に考えたいと思います。人の手が入って、はじめて里山の自然になるという事実を、親子ともども身をもって感じる事ができれば、子ども達にとっても幸せなことではないかと思えます。

編集後記

▼実りの秋を迎え、野田内閣が発足した。東日本大震災の復旧・復興と福島第一原発事故の収束を最優先課題に掲げた。復興財源に関し、歳出削減を徹底して、さらに臨時増税が必要になると明言。

政府が公約した国家公務員の人件費削減、天下り廃止などは棚上げ状態に近い。

徹底的な歳出削減なくしての増税は、国民の理解を得られるのか。

▼台風15号は、日本列島を縦断し、本県を直撃した。本町も甚大な被害を受け、議会も現地調査を行い町と対応を検討している。

▼災害から南部町を守る会より、中部電力・浜岡原子力発電所の恒久停止等を求める要望書が提出された。

(広報編集委員会委員)

内田大明 簾持 雅
鍋田幹雄 萩原 敬
望月将名 市川 強